

# 社会福祉法人現況報告書

## 平成 27 年4月1日現在

基本情報

所轄庁	都道府県											
法人名	檜の里	主たる事務所の所在地	〒 510 - 1326	三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地	電話番号	059 - 394 - 1595	FAX番号	059 - 394 - 1985				
ホームページアドレス	<a href="http://asakegakuen.com">http://asakegakuen.com</a>	メールアドレス	<a href="mailto:h80asake@m7.cty-net.ne.jp">h80asake@m7.cty-net.ne.jp</a>		設立認可年月日	昭和55年9月29日		設立登記年月日	昭和55年10月1日			
代表者	氏名	年齢	住所		職業	就任年月日						
	山田 勉	非公表	非公表		東友会名古屋地区ボランティア部会理事・部会長	平成25年3月16日						

事業

社会福祉事業	種類	施設名・事業所名	公表/非公表	所在地	事業開始年月日	定員	実施形態	
							各分野の事業が同一施設(敷地)で実施	全ての事業が同一施設(敷地)で実施
児童福祉	第一種							
	第二種							
老人福祉	第一種							
	第二種							
障害者福祉	第一種	障害者支援施設	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	昭和56年6月1日	40		
	第二種	障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	平成14年4月1日	40		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町大羽根園青葉町19-17	平成2年4月1日	4		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1572-1	平成11年10月1日	5		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1572-1	平成20年9月1日	5		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1572-1	平成21年4月1日	7		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	平成6年4月1日	4		
		相談支援事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	平成15年4月1日			
特定相談支援事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	平成26年5月1日					
その他	第一種							
	第二種							

公益事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
	16	あさけ診療所	三重県三重郡菰野町杉谷1573	昭和63年5月1日	無床
1 必要な者に対し、相談、情報提供・助言、行政や福祉・保健・医療サービス事業者等との連絡調整を行う等の事業 2 必要な者に対し、入浴、排せつ、食事、外出時の移動、コミュニケーション、スポーツ・文化的活動、就労、住環境の調整等を支援する事業 3 入浴等の支援が必要な者、独力では住居の確保が困難な者等に対し、住居を提供又は確保する事業 4 日常生活を営むのに支障がある状態の軽減又は悪化の防止に関する事業 5 入所施設からの退院・退所を支援する事業 6 子育て支援に関する事業 7 福祉用具その他の用具又は機器及び住環境に関する情報の収集・整理・提供に関する事業 8 ボランティアの育成に関する事業 9 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業(社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・コミュニケーション支援者等の養成事業等) 10 社会福祉に関する調査研究等 11 事業規模要件を満たさないために社会福祉事業に含まれない事業 12 介護保険法の居宅サービス事業、地域密着型サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型介護予防サービス事業、居宅介護支援事業、介護予防支援事業、介護老人保健施設、地域支援事業を市町村から受託する事業 13 有料老人ホーム 14 社会福祉協議会等において、社会福祉協議会活動等に参加する者の福利厚生を図ることを目的として、宿泊所、保養所、食堂等を経営する事業 15 公益的事業を行う団体に事務所等として無償又は実費に近い対価で使用させるために会館等を経営する事業 16 その他( 発達障害児(者)に係る児童精神科医療に関する事業 )					
収益事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
1 法人の所有する不動産を活用して行う貸ビル 2 駐車場の経営 3 公共的、公共的施設内の売店の経営 4 その他 ( )					
その他の事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免 2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施 3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施 4 災害時における各種支援活動の実施 5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施 6 他法人との連携による人材育成事業 7 その他 ( )					



	定員	現員														
	15	15					資格									
氏名	職業	任期	親族等特殊関係者の有無			理事の親族	資格					施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	理事との兼務	職員との兼務	評議会への出席回数	
			親族	他の社会福祉法人の役員	その他		社会福祉事業の学識経験者	地域の福祉関係者	地域の代表者	施設長	利用者の家族の代表					その他
評議員	山田 勉		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	飯島 光一		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	市川 潮		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	近藤 裕彦		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	水野 佐知子		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													2
	江副 明		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													2
	米村 ユカリ		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	川谷 洋治		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	千種 錦		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													1
	後藤 博利		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	小林 博子		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													2
	森尾 眞明		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	二ノ宮 譲		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													3
	西野 公		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													2
中村 和博		平成26年10月1日 ~ 平成28年9月30日													2	
施設長	施設名		氏名	就任年月日		法令等に定める資格の有無										
	あさけ学園		近藤 裕彦	平成22年1月1日		有										
	ワークセンターひのき		西野 公	平成15年4月1日		有										
	あさけホーム		西野 公	平成22年4月1日		有										
職員	常勤専従	常勤兼務		非常勤												
			換算数		換算数											
	法人本部	0	0		0											
施設	29	21	21	18	11											

理事会	開催年月日	出席者数	書面出席者数	監事出席の有無	決議事項	
	平成26年5月24日	7	0	有	1.平成25年度事業実績報告 2.平成25年度決算報告 3.経理規程の一部改正	
	平成26年9月27日	7	0	有	1.任期満了に伴う役員の改選 2.理事長の選任と常務理事の指名 3.職務代理者の指名と特別代理人の選任 4.任期満了に伴う評議員の改選 5.平成26年度自閉症総合援助センター拠点区分予算、診療所拠点区分予算の補正 6.定款施行細則の一部変更 7.印章(公印)取扱規程の整備 8.建設工事等競争入札実施要綱の一部改正	
	平成27年3月14日	6	1	有	1.現任理事の辞任と新理事の選任 2.平成26年度法人本部拠点区分予算の補正、自閉症総合援助センター拠点区分予算、診療所拠点区分予算の第2次補正 3.法人管理運営規程の一部改正及び運営規程の変更 4.パートタイマー等の就業規則の一部改正 5.職員給与規程の一部改正 6.経理規程の一部改正 7.平成27年度事業計画 8.平成27年度当初予算	
評議員会	開催年月日	出席者数	書面出席者数	監事出席の有無	決議事項	
	平成26年5月24日	14	有	有	1.平成25年度事業実績報告 2.平成25年度決算報告 3.経理規程の一部改正	
	平成26年9月27日	13	有	有	1.任期満了に伴う役員の改選 2.法人人事等(理事長と常務理事、職務代理者と特別代理人、任期満了に伴う評議員) 3.平成26年度自閉症総合援助センター拠点区分予算、診療所拠点区分予算の補正 4.定款施行細則の一部変更 5.印章(公印)取扱規程の整備 6.建設工事等競争入札実施要綱の一部改正	
	平成27年3月14日	11	有	有	1.現任理事の辞任と新理事の選任 2.平成26年度法人本部拠点区分予算の補正、自閉症総合援助センター拠点区分予算、診療所拠点区分予算の第2次補正 3.法人管理運営規程の一部改正及び運営規程の変更 4.パートタイマー等の就業規則の一部改正 5.職員給与規程の一部改正 6.経理規程の一部改正 7.平成27年度事業計画 8.平成27年度当初予算	
監事監査	監査年月日	監査者		監査報告の有無	指摘事項	改善事項
	平成27年5月23日	堀正昭、田中由香里		有	なし	なし

資産管理

平成 27 年3月31日現在

不動産 の所有 状況	所在地	面積	評価額(千円)	担保提供の状況					
				提供年月日	借入額(千円)	借入先	償還期限	所轄庁の 承認の有 無	
基本財産	建物	三重県三重郡菟野町大羽根園青葉町19番17	262.38	13,150					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	412.55	97,436					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	412.36						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	336.17						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	253.50	75					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	148.60	141,175					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	950.90						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	36.00						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	223.06	20,688					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	859.73	98,088					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	122.00	17,156					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	388.80	21,327					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	161.78	13,273					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	161.78						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	196.12	24,732					
三重県三重郡菟野町大羽根園青葉町19番地17	86.11	3,197							
運用財産	建物	三重県三重郡菟野町大字根の平98番1	7440.05	29,257					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	9.60	11					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	38.28	171					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	61.04	3,871					
公益事業用財産	建物	三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	222.42	21,859					
収益事業用財産	建物								



平成 27 年 6 月 1 日

## 平成 26 年度の主な事業報告

社会福祉法人 檜の里

### [法人事業]

- (1) 「自閉症総合援助センターあさけ学園」の運営と社会福祉法人としての事業の推進
- (2) 職員の充足、育成、研修と処遇の充実
- (3) 災害対策
- (4) 利用者の権利擁護に向けた取り組み
- (5) 特定相談支援事業の実施
- (6) 法人事業の必要経費等の充当
- (7) 世界自閉症啓発デー行事への参加
- (8) 広報活動（機関紙「檜の里」の年 3 回発行。）
- (9) 他団体との連携、研修  
三重県社会福祉施設経営者協議会、一般社団法人日本自閉症協会、全国自閉症者施設協議会

### [第 1 種及び第 2 種社会福祉事業]

- (1) あさけ学園（居住部門）  
障害者支援施設（定員：生活介護 40 人、施設入所支援 40 人）  
利用実績 実利用者：生活介護 40 人（期首）→ 40 人（期末）  
：施設入所支援 39 人（期首）→ 39 人（期末）
- (2) 多機能型ワークセンターひのき（通所部門）  
多機能型（定員：生活介護 30 人、就労継続支援 B 型 10 人）  
利用実績 実利用者：生活介護 21 人（期首）→ 21 人（期末）  
：就労継続支援 B 型 9 人（期首）→ 9 人（期末）（期中 1 人退所、1 人入所）
- (3) あさけホーム（共同生活援助及び共同生活介護の定員：21 人）  
利用実績 実利用者：共同生活介護 21 人（期首）→ 21 人（期末）
- (4) 事業の総括と見直し  
24 時間を通じた生活支援の取り組み  
地域生活者の Total Life Care Program への取り組み  
日中活動（作業）の充実
- (5) 相談支援事業（三重県自閉症・発達障害支援センターあさけ）  
H26 年度未登録者数：発達支援関係 実員 569 人 延<sup>ハ</sup>相談件数 4,019 件  
就労支援関係 実員 69 人 延<sup>ハ</sup>相談件数 460 件  
研修会開催：知的障害のない自閉症スペクトラム児者支援に係る事例報告、当事者家族との話し合い、  
講義及び事業報告（1 月）



(6) 特定相談支援事業（特定相談支援事業所あさけ）

サービス利用支援

ア 面談・アセスメント実施の実員 65人

イ サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成 60件

継続サービス利用支援（モニタリング） 延べ11件（実員7人）

(7) 短期入所事業（あさけ学園短期入所事業所）

利用実績 実利用者22人、延べ974日

(8) 職員の育成、研修

(9) 施設の改修施工と整備

ワークセンターひのき第二作業所（作業ルーム内）の空調設備の設置

青葉台ホーム ・ の外壁・屋根塗装の修繕

ワークセンターひのきの流し台（食堂内）の追加設置

車輛の入れ替え（2台）

[公益事業]

(1) あさけ診療所

来院患者数...延べ6,447人（うち新患者数179人）

以上

# 平成 26 年度事業報告

自閉症総合援助センターあさけ学園

## はじめに

平成 26 年度は、計画相談支援の開始や、障害者総合支援法における障害支援区分への見直しなど、支援システム全体に関わる変革があった。これらを現場の支援の中にどう組み込んでいくかを含めて、動きながら考える 1 年だったように思われる。

## 平成 26 年度事業の総括と見直し

### 1. 24 時間を通じた生活支援の取り組み

- (1) 強度行動障害支援として、有期限有目的の地域生活支援プログラム利用者への集中的な取り組み、さらに旧法の強度行動障害支援事業終了後の滞留者やロングステイ利用者へ継続的な取り組みを進めてきた。この結果、利用者 1 名が就労継続支援 B 型事業所へ自宅から通い、1 名は一般の施設入所支援事業所に移行した。
- (2) 利用者の高齢化に向け、医務室や外部の医療機関と連携した健康管理に加えて、身体をほぐしたり、排便を促すための運動プログラムの試行を開始した。
- (3) 上記(2)と関連して、例えば外泊の日数や家での過ごし方など、高齢の家族とのかわりについても、密に連絡を取り合いながら進めるようになった。

### 2. 地域生活者の T L C P (Total Life Care Program) への取り組み

- (1) 一人で行動する場面でトラブルになりやすいケースの支援や、適切な振る舞い方の学習にあたって、外部サービスやボランティアを活用したプログラムを実施した。
- (2) 健康面について、入院や通院の際に支援員や世話人の付き添いは今も欠かせない。さらに普段の生活の中で、利用者が自分の疾病や身体の衰えを受容していく支援が重要になってきた。
- (3) 通勤や外出、家庭など、外へ出向いて支援を展開し、トラブル等に対応してきた。未然防止に加えて、家庭生活の安定や地域住民との協力体制整備のための支援技術を向上させていく必要がある。
- (4) 相談支援事業所を中心としたサービス担当者会議の実施により、これまでのネットワークを含めた総合的なサービス提供が進み始めてきた。利用者ひとり一人について、有効な支援が展開できるシステムを作っていく。

### 3. 日中活動(作業)の充実

- (1) 社会的な自立生活への意欲を高めていく取り組みとして、オリジナル商品を地域のバザーや店舗で販売する活動を定期的実施した。
- (2) オリジナル作業の充実、暑さ対策、利用者の健康増進に向けた支援体制や作業環境の整備を行なった。
- (3) 加齢に伴い、職業(作業)支援だけでなく、趣味や余暇活動、健康増進のためのプログラムなど、幅広い展開を行なうためのシステム作りに着手した。

#### 4．三重県自閉症・発達障害支援センターあさけ

- (1) 従来から学齢期ケースの相談が最も多いが、幼児の発達支援や高校生の就労支援、発達障害を疑う成人の相談等が増加傾向にあり、相談内容や関係機関との協議の持ち方も多岐にわたってきた。
- (2) 支援困難ケースについて、関係者との定期的な調整会議や合同面接を通じて、具体的、かつ現実的な支援内容を検討しやすくなってきた。
- (3) 機関連携の状況について、市町の行政機関、相談支援事業所、学校等の教育機関に加えて、放課後デイサービスや就労継続支援事業所とのかかわりが急増した。どちらも支援の質にバラつきが大きいいため、より丁寧な対応が必要となっていく。

\* 自閉症・発達障害支援センター支援実績（平成27年3月31日現在）

発達支援 実員 569人、延べ 4,019件（内訳：訪問 1,441件 来所 786件 電話等 1,792件）  
調整会議 901件

就労支援 実員 69人、延べ 460件（内訳：訪問 29件 来所 115件 電話等 316件）  
調整会議 88件

研修会の開催 知的障害のない自閉症スペクトラム児者支援に係る事例報告、当事者家族との話し合い、講義及び事業報告（1月）

#### 5．特定相談支援事業所あさけ

事業開始1年目で、法人内の居住部門、グループホーム、通所の利用者に係るサービス利用支援はほぼ予定どおり実施することができた。これに比して、継続サービス利用支援（モニタリング）は予想以上に多くなった。

\* 計画相談支援実績（平成27年3月31日現在）

サービス利用支援

ア 面談・アセスメント実施の実員 65人

イ サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成 60件

ウ サービス等利用計画案の作成 6件

継続サービス利用支援（モニタリング） 延べ 11件（実員 7人）

#### 6．短期入所事業（ショートステイ）

- (1) 利用希望者は年々増加傾向にあるが、その中でも延べ件数や日数が多く、頻回もしくは長期にわたる利用者が増えてきている。
- (2) 各部署が連携し、ほぼ1年間を通じて、強度行動障害支援を終了した退所者、あるいは家庭や通所事業所で不適応状態になったケースへの迅速な対応、具体的な対応や助言ができた。
- (3) 上記1の(1)にもあるとおり、長期間連続して利用を続けていた者が一般の施設入所支援事業所に移行できた。

\* 短期入所事業利用実績（平成27年3月31日現在）

実員 22 人 延べ 137 件、974 日

## 7．職員の育成、研修

- (1) 職員同士の絡み合いをうまく使って支援する場面が見られなくなってきた。設定された枠がないと利用者にかかわれない、あるいは型通りのやり方に終始してしまうのである。そこで、利用者との野外活動やレクリエーションを実際に企画・運営する新人職員研修を実施してみた。今後、こうした場面でリーダーシップを取れる職員の養成が必要となる。
- (2) 外部講師を活用した研修を通じて、個々の職員の支援技術の向上にとどまらず、ひとつの目標に向かって支援者が相互に補完し合いながら達成していくアプローチの大切さに気づくことができた。
- (3) これまで退所に向けたアプローチ、家庭や地域に出向く支援を実践してきた。今後は、その手立てを実際に取り組んだ職員のみでなく、職員全体の支援技術の積み上げとなるよう整理し、次の支援に活かすことが大切になる。
- (4) 入院や通院、地域や家庭へ出向く支援など、通常場面以外での支援が増えている。現状の生活を支えるだけでなく、数年後に必要となる支援へ対応可能な職員を育成していくためにはどうすれば良いか。職員研修の課題のひとつである。
- (5) 権利擁護や虐待防止等に関する外部の研修会へ積極的に参加した。

## 8．施設の改修施工と整備

平成26年8月から27年3月にわたり、下記の整備工事を行なった。

- (1) ワークセンターひのき第二作業所（作業ルーム内）の空調設備の設置
- (2) 青葉台ホーム ・ の外壁・屋根塗装の修繕
- (3) ワークセンターひのきの流し台（食堂内）の追加設置
- (4) 車両の入れ替え（2台）
- (5) その他

以 上